

令和7年度岩手大学入学者選抜における 募集人員及び実施教科・科目等について

令和4年12月22日
岩手大学

新学習指導要領に対応した令和7年度岩手大学入学者選抜における募集人員並びに大学入学共通テストで利用する教科・科目及び一般選抜で課す教科・科目等について、お知らせします。

なお、今後諸事情により内容が一部変更となる可能性もあります。
詳細については、「令和7年度入学者選抜要項（令和6年7月公表予定）」及び各種学生募集要項で必ず確認してください。

【令和6年度からの主な変更点】

○人文社会科学部

実施教科・科目等の変更

大学入学共通テストの利用教科・科目に情報「情報Ⅰ」を追加し、前期日程は6教科7科目又は7教科7科目、後期日程は4教科4科目とします。

なお、人文社会科学部の「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」の変更も併せて公表します。

○教育学部

実施教科・科目等の変更

大学入学共通テストの利用教科・科目に情報「情報Ⅰ」を追加し、小学校教育コース、中学校教育コース及び特別支援教育コースは6教科8科目又は7教科8科目、理数教育コースは6教科8科目とします。

○理工学部

募集人員の変更

学科・課程等		一般選抜		学校推薦型選抜	総合型選抜	
		前期日程	後期日程		I	II
化学・生命理工学科	化学コース	38	12	10→13	/	5→0
	生命コース	17→18	5→6	3		
物理・材料理工学科	数理・物理コース	22→23	4→5	4	/	5→0
	マテリアルコース	29→31	9→10	7		
システム創成工学科	電気電子通信コース	38	12→13	10	5	5→0
	知能・メディア情報コース	35→36	12	8		
	機械科学コース	50	15→16	15→16		
	社会基盤・環境コース	35	5→6	20		
計		264→269	74→80	77→81	10	15→0
前年度からの増△減		+5	+6	+4	0	△15

総合型選抜Ⅱを廃止します。

実施教科・科目等の変更

大学入学共通テストの利用教科・科目に情報「情報Ⅰ」を追加し、6教科8科目とします。

一般選抜前期日程・後期日程における「主体性・創造性・協働性」は調査書での評価に変更し、「主体性・協働性に関する自己評価」の試験は廃止します。

学校推薦型選抜で、システム創成工学科知能・メディア情報コースの口頭試問の対象とする教科・科目に情報「情報Ⅰ」を追加します。

なお、理工学部の「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」の変更も併せて公表します。

○農学部

実施教科・科目等の変更

大学入学共通テストの利用教科・科目に情報「情報Ⅰ」を追加し、6教科8科目とします。

総合型選抜Ⅱでの大学入学共通テスト利用科目を各学科ともに6教科8科目とします。
また、森林科学科の2段階選抜を廃止します。

なお、農学部の「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」の変更も併せて公表します。

令和7年度岩手大学学生募集人員

学部	学科・課程等		入学定員	募 集 人 員					備 考		
				一般選抜		学校推薦型選抜	総合型選抜			私費外国人留学生選抜	
				前期日程	後期日程		I	II			
人文社会科学部	人間文化課程		125	63	22	※1 40	/	/	若干名		
	地域政策課程		75	43	12	20	/	/	若干名		
	計		200	106	34	60			若干名		
教育学部	学校教育 教員養成課程	小学校教育コース	88	48	15	25	/	/	/	※1 数学サブコース及び理科サブコースの学校推薦型選抜の入学者は、「小学校教育専修」に所属することになります。	
		中学校教育コース	国語サブコース	29	5	/	/	/	/		/
			社会サブコース		5	/	/	/	/		/
			英語サブコース		5	/	3	/	/		/
			音楽サブコース		3	/	/	/	/		/
			美術サブコース		2	/	1	/	/		/
		保健体育サブコース	3	/	2	/	/	/			
	理数教育コース	数学サブコース	32	12	/	※1 5	/	/	/		
		理科サブコース		10	/	※1 5	/	/	/		
		特別支援教育コース	11	5	2	4	/	/	/		
計		160	98	17	45						
理工学部	化学・生命理工学科	化学コース	90	38	12	13	/	/	若干名	総合型選抜Iは地域創生特別プログラムの募集人員となります。	
		生命コース		18	6	3	/	/	若干名		
	物理・材料理工学科	数理・物理コース	80	23	5	4	/	/	若干名		
		マテリアルコース		31	10	7	/	/	若干名		
	システム創成工学科	電気電子通信コース	270	38	13	10	/	/	若干名		
		知能・メディア情報コース		36	12	8	5	/	若干名		
		機械科学コース		50	16	16	/	/	若干名		
	社会基盤・環境コース	35	6	20	5	/	若干名				
計		440	269	80	81	10		若干名			
農学部	植物生命科学科	40	26	4	5	/	5	若干名	共同獣医学科の修業年限は、6年です。 ※2 総合型選抜II募集人員内訳 一般枠 8 地域枠 2		
	応用生物化学科	40	32	3	3	/	2	若干名			
	森林科学科	30	16	3	6	/	5	若干名			
	食料生産環境学科	農村地域デザイン学コース	60	26	4	6	/	4		若干名	
		食産業システム学コース		10	3	5	/	2		若干名	
		水産システム学コース	10	3	5	/	2	若干名			
	動物科学科	30	20	3	7	/	/	若干名			
共同獣医学科	30	20	/	/	/	※2 10	若干名				
計		230	150	20	32		28	若干名			
合 計			1,030	623	151	218	10	28	若干名		

・教育学部の入学定員は学校教育教員養成課程160名ですが、入学定員欄にはコース毎の募集人員計を表示しています。
 ・総合型選抜および学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員補充は一般選抜で行います。

令和7年度入学者選抜の実施教科・科目等

(1) 人文社会科学部

学部・学科等名 及び入学定員等	学検等の 区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
人文社会科学部 200人 前期 106 後期 34 学校推薦型 60	人間文化課程 前期日程 2月25日	国	「国語」	国	現代の国語 言語文化	
		地歴 公民	「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」から1	外	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
		「地理総合、歴史総合、公共」 } から1 「公共、倫理」、 } 又は2 「公共、政治・経済」から1 } から3 (注1)		[2教科2科目]		
	教	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」から1 } から1 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 } 又は2				
	地域政策課程 募集人員 75人 前期 43 後期 12 学校推薦型 20	理	「物理基礎、化学基礎、 生物基礎、地学基礎」 } から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 } (注2) *「基礎を付した科目(物理基礎、 化学基礎、生物基礎、地学基礎)」 については、2科目の受験で 他の教科・科目の1科目とみなします。			
外		「英語」(リスニングを含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」から1				
		情	「情報Ⅰ」			
			[6教科7科目又は7教科7科目]			
	後期日程 3月12日	国	「国語」	その他	小論文	
		地歴 公民	「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合、歴史総合、公共」、 「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」 } から1			
		教	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」 } から1 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 } 又は2			
		理	「物理基礎、化学基礎、 生物基礎、地学基礎」 } から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 } (注3) *「基礎を付した科目(物理基礎、 化学基礎、生物基礎、地学基礎)」 については、2科目の受験で他の 教科・科目の1科目とみなします。			
		情	「情報Ⅰ」			
		外	「英語」(リスニングを含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」から1			
			[4教科4科目]			
	学校推薦型		<input type="checkbox"/> 大学入学共通テストは課さない	その他	小論文及び面接	
	11月下旬					

備考

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

*「数学①」、「数学②」の区分は以下のとおりです。

数学①「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」

数学②「数学Ⅱ、数学B、数学C」

(注1) 前期日程の選択教科・科目で、『「地理歴史」、「公民」』から2科目及び「数学」から2科目を受験した場合は、『「地理歴史」、「公民」』の第1解答科目の成績を必ず利用し、残りの2科目は『「地理歴史」、「公民」』の第2解答科目及び「数学①」、「数学②」の3科目の中から高得点の2科目の成績を利用します。

(注2) 前期日程の選択教科・科目で、「理科」から複数科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を利用します。

(注3) 後期日程の選択教科・科目で、『「地理歴史」、「公民」』、「数学」、「理科」及び「情報」から3科目以上を受験した場合は、『「地理歴史」、「公民」』の第1解答科目、「数学」の最高得点科目、「理科」の第1解答科目、及び「情報」の中から高得点の2科目を利用します。

(2) 教育学部

学部・学科等名 及び入学定員等		学力検査等 の 区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等					
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜			
教育学部 160人 前期 98 後期 17 学校推薦型 45	小学校教育 コース 募集人員 88人 前期 48 後期 15 学校推薦型 25	前期日程 2月25日	国	「国語」	国	現代の国語, 言語文化	から2			
		後期日程 3月12日	教	「数学Ⅰ, 数学A」と「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	教	(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C), (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C)から1				
			地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」から1 「地理総合, 歴史総合, 公共」	理	(物理基礎・物理), (化学基礎・化学), (生物基礎・生物)から1				
			理	「物理基礎, 化学基礎」, 「生物基礎, 地学基礎」 } から1 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 } 又は2 * 「基礎を付した科目 (物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎)」については, 2科目の受験で他の教科・科目の1科目とみなします。	外	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [2教科2科目]				
学校推薦型 11月下旬	外	「英語」(リスニングを含む), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1	その他	小論文						
		情	「情報Ⅰ」							
			[6教科8科目又は7教科8科目]							
			大学入学共通テストは課さない	その他	小論文 個人面接					
学校教育 教員養成課程	中学校教育 コース 募集人員 29人 前期 23 国語 5 社会 5 英語 5 音楽 3 美術 2 保体 3 学校推薦型 6 英語 3 美術 1 保体 2	前期日程 2月25日	国	「国語」	国	現代の国語, 言語文化	から2 (注3)			
		前期日程 2月26日	教	「数学Ⅰ, 数学A」と「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	教	(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C), (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C)から1				
			地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」から1 「地理総合, 歴史総合, 公共」	理	(物理基礎・物理), (化学基礎・化学), (生物基礎・生物)から1				
			理	「物理基礎, 化学基礎」, 「生物基礎, 地学基礎」 } から1 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 } 又は2 * 「基礎を付した科目 (物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎)」については, 2科目の受験で他の教科・科目の1科目とみなします。	外	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [2教科2科目]				
		前期日程 2月26日	外	「英語」(リスニングを含む), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1	その他	実技検査 個人面接				
		前期日程 2月26日	情	「情報Ⅰ」	その他	実技検査 個人面接				
		前期日程 2月26日		[6教科8科目又は7教科8科目]						
		学校推薦型 英語		大学入学共通テストは課さない	その他	小論文 個人面接(英語による口頭試問含む)				
		11月下旬 学校推薦型 美術			その他	実技検査 個人面接				
		11月下旬 学校推薦型 保健体育			その他	実技検査 個人面接				
11月下旬										

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等 の 区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
理数教育 コース 募集人員 32人 前期 22 数学 12 理科 10 学校推薦型 10 数学 5 理科 5 学校教育 教員 養成 課程	前期日程 2月25日	国	「国語」	国	現代の国語, 言語文化	から2 (注3)	
		数	「数学Ⅰ, 数学A」と「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	数	(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C), (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C)から1		
		地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合, 歴史総合, 公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」	から1	理		(物理基礎・物理), (化学基礎・化学), (生物基礎・生物)から1
		理	「物理基礎, 化学基礎」, 「生物基礎, 地学基礎」 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 (注1) *「基礎を付した科目(物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎)」については, 2科目の受験で他の教科・科目の1科目とみなします。	から2	外		英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [2教科2科目]
	学校推薦型 数学 理科 11月下旬		大学入学共通テストは課さない	その他	小論文 個人面接		
特別支援教育 コース 募集人員 11人 前期 5 後期 2 学校推薦型 4	前期日程 2月25日	国	「国語」	国	現代の国語, 言語文化	から2	
		数	「数学Ⅰ, 数学A」と「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	数	(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C), (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C)から1		
		地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」から1 「地理総合, 歴史総合, 公共」 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」から1	から1 又は2 から3 (注2)	理		(物理基礎・物理), (化学基礎・化学), (生物基礎・生物)から1
		理	「物理基礎, 化学基礎」, 「生物基礎, 地学基礎」 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 (注1) *「基礎を付した科目(物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎)」については, 2科目の受験で他の教科・科目の1科目とみなします。	から1 又は2	外		英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [2教科2科目]
	後期日程 3月12日	外	「英語」(リスニングを含む), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1	その他	小論文		
	学校推薦型 11月下旬		大学入学共通テストは課さない	その他	小論文 個人面接		

備考

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

教科「理科」において、「基礎を付した科目」とは、「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎」を指し、「基礎を付していない科目」とは、「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」を指します。

(注1) 「基礎を付した科目」については, 2科目の受験で他の教科・科目の1科目とみなします。このため, 「理科」の選択科目数と選択科目の組み合わせは, 以下のア～エのいずれかになります。

ア 選択科目数1: 「基礎を付した科目」から2科目を選択

イ 選択科目数1: 「基礎を付していない科目」から1科目を選択

ウ 選択科目数2: 「基礎を付した科目」から2科目かつ「基礎を付していない科目」から1科目を選択

この場合, 「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を付した科目を選択しても構いません。

エ 選択科目数2: 「基礎を付していない科目」から2科目を選択

(注2) 『「地理歴史」, 「公民」』から2科目, 「理科」から2科目を受験した場合は, 下記ア, イのうち, いずれか高得点の組み合わせを利用します。

ア 『「地理歴史」, 「公民」』の2科目と「理科」の第1解答科目

イ 『「地理歴史」, 「公民」』の第1解答科目と, 「理科」の2科目

・ 理数教育コースにおいては, 『「地理歴史」, 「公民」』から2科目受験した場合は, 第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

・ 小学校教育コースに入学後, 英語サブコースへ所属を希望する者は, 「外国語」を受験しておくことが望ましい。

・ 数学Aの出題範囲は, 「図形の性質」, 「場合の数と確率」とします。

・ 数学Bの出題範囲は, 「数列」とします。

・ 数学Cの出題範囲は, 「ベクトル」とします。

(注3) 中学校教育コース(国語, 英語サブコース)及び理数教育コース(数学, 理科サブコース)においては, サブコースごとに個別学力検査の受験科目を以下のとおり指定します。

・ 国語サブコース受験者は, 「国語」を含む2科目を受験すること。

・ 英語サブコース受験者は, 「外国語」を含む2科目を受験すること。

・ 数学サブコース受験者は, 「数学」の「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」を含む2科目を受験すること。

・ 理科サブコース受験者は, 「理科」を含む2科目を受験すること。

なお, 社会サブコース受験者は「国語」, 「数学」, 「理科」, 「外国語」から2科目を選択して受験してください。

(3) 理工学部

学部・学科等名 及び入学定員等		学力検査等 の 区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
理工学部 440人 前期 269 後期 80 学校推薦型 81 総合型 I 10	化学・生命理工学科 募集人員 90人 前期 56 後期 18 学校推薦型 16	前期日程 2月25日	国	「国語」	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B ・数学C	2段階 選抜
		地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合, 歴史総合, 公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」	} から1			
		後期日程 3月12日	数		「数学Ⅰ, 数学A」と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	理	化学コース：物理基礎・物理, 化学 基礎・化学から1 生命コース：物理基礎・物理, 化学 基礎・化学, 生物基礎・生物から1 [2教科2科目]
		学校推薦型 11月下旬	大学入学共通テストは課さない		その他	書類審査, 面接及び口頭試問※	
	物理・材料理工学科 募集人員 80人 前期 54 後期 15 学校推薦型 11	前期日程 2月25日	国	「国語」	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B ・数学C	2段階 選抜
		地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合, 歴史総合, 公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」	} から1			
		後期日程 3月12日	数		「数学Ⅰ, 数学A」と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学から1 [2教科2科目]
		学校推薦型 11月下旬	大学入学共通テストは課さない		その他	書類審査, 面接及び口頭試問※	

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等 の 区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
システム創成工学科 募集人員 270人 前期 159 後期 47 学校推薦型 54 総合型 I 10	前期日程 2月25日	国	「国語」	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B ・数学C	
		地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合, 歴史総合, 公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学から1 [2教科2科目]	
		数	「数学Ⅰ, 数学A」と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B ・数学C	
		理	「物理」, 「化学」, 「生物」から2	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学から1 [2教科2科目]	
	後期日程 3月12日	外	「英語」(リスニングを含む), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学から1 [2教科2科目]	
	情報		「情報Ⅰ」 [6教科8科目]			
	学校推薦型 11月下旬		大学入学共通テストは課さない	その他	書類審査, 面接及び口頭試問※	
	総合型Ⅰ (地域創生 特別プログラ ム) [1次] 9月下旬 [2次] 10月上旬		大学入学共通テストは課さない	その他	○ものづくり系 [第1次選考] 書類審査 [第2次選考] プレゼンテーション, 面接及び口頭試問 ○防災・まちづくり系 [第1次選考] 書類審査 [第2次選考] プレゼンテーション, 面接及び口頭試問	

備考

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ・『「地理歴史」, 「公民」』から2科目受験した場合は, 第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

- ・数Aの出題範囲は, 「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。
- ・数Bの出題範囲は, 「数列」とします。
- ・数学Cの出題範囲は, 「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。
- ・調査書により, 「主体性を持ち, 多様な人々と協働しつつ学習する態度」を評価します。

※別紙「令和7年度理工学部学校推薦型選抜における口頭試問の対象となる科目及びその範囲」参照

(4) 農学部

学部・学科等名 及び入学定員等		学力検査等 の 区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
農学部 230人 前期 150 後期 20 学校推薦型 32 総合型Ⅱ 28	植物生命科学科 募集人員 40人 前期 26 後期 4 学校推薦型 5 総合型Ⅱ 5	前期日程 2月25日	国 「国語」 地歴 公民 「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合, 歴史総合, 公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」 } から1	教 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B ・数学C } から1 理 物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物 } から1 [1教科1科目] その他 大学入学希望理由書			
	応用生物化学科 募集人員 40人 前期 32 後期 3 学校推薦型 3 総合型Ⅱ 2	後期日程 3月12日	教 「数学Ⅰ, 数学A」, 「数学Ⅰ」から1と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」 理 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2 外 「英語」(リスニングを含む), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1 情 「情報Ⅰ」 [6教科8科目]	その他 面接			
	森林科学科 募集人員 30人 前期 16 後期 3 学校推薦型 6 総合型Ⅱ 5	学校推薦型 11月下旬	大学入学共通テストは課さない	その他 小論文 面接			
	食料生産環境学科 募集人員 60人 (農村地域デザイン 学コース・食産 業システム学コース) 前期 26 後期 4 学校推薦型 6 総合型Ⅱ 4 (水産システム学 コース) 前期 10 後期 3 学校推薦型 5 総合型Ⅱ 2	総合型Ⅱ 12月中下旬	国 「国語」 地歴 公民 「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合, 歴史総合, 公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」 } から1	教 「数学Ⅰ, 数学A」, 「数学Ⅰ」から1と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」 理 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2 外 「英語」(リスニングを含む), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1 情 「情報Ⅰ」 [6教科8科目]	その他 面接		
	動物科学科 募集人員 30人 前期 20 後期 3 学校推薦型 7	前期日程 2月25日	国 「国語」 地歴 公民 「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合, 歴史総合, 公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」 } から1	教 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B ・数学C } から1 理 物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物 } から1 [1教科1科目] その他 大学入学希望理由書			
		後期日程 3月12日	理 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2 外 「英語」(リスニングを含む), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1 情 「情報Ⅰ」 [6教科8科目]	その他 面接			
		学校推薦型 11月下旬	大学入学共通テストは課さない	その他 小論文 面接			

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等 の 区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
共同獣医学科 募集人員 30人 前期 20 総合型Ⅱ 10 (一般枠8, 地域枠2)	前期日程 2月25日	国	「国語」	教	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C	2段階 選抜	
	地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合, 歴史総合, 公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」	から1				理
		教	「数学Ⅰ, 数学A」と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	その他	[2教科2科目]		
		理	「物理」, 「化学」, 「生物」から2		大学入学希望理由書		
		外	「英語」(リスニングを含む), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1				
		情	「情報Ⅰ」 [6教科8科目]				
	総合型Ⅱ 12月中下旬	国	「国語」	その他	[第1段階選抜] (志願倍率が4倍を超えた場合実施することがある) 書類審査	○	
		地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合, 歴史総合, 公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」				から1
		教	「数学Ⅰ, 数学A」と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」				
		理	「物理」, 「化学」, 「生物」から2				
		外	「英語」(リスニングを含む), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1				
		情	「情報Ⅰ」 [6教科8科目]				

備考

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ・『「地理歴史」, 「公民」』から2科目受験した場合は, 第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

- ・ 数学Aの出題範囲は, 「図形の性質」, 「場合の数と確率」とします。
- ・ 数学Bの出題範囲は, 「数列」とします。
- ・ 数学Cの出題範囲は, 「ベクトル」とします。
- ・ 共同獣医学科が行う総合型Ⅱの第1段階選抜に用いる書類は, 出願理由書, 調査書とします。
なお, 第1段階選抜が行われなかった場合も, 面接の基礎資料として使用します。

令和7年度理工学部学校推薦型選抜における口頭試問の対象となる科目及びその範囲

学科・コース		口頭試問の対象となる科目及びその範囲
化学・生命理工学科	化学コース	数 学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C 理 科：化学基礎 外国語：英語 ※ 数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。 数学Bの出題範囲は「数列」とします。 数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。
	生命コース	数 学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C 外国語：英語 ※ 数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。 数学Bの出題範囲は「数列」とします。 数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。
物理・材料理工学科	数 理 ・ 物 理 コ ー ス	数 学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C 理 科：「物理基礎」か「化学基礎」のどちらかを口頭試問開始時に選択 外国語：英語 ※ 数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。 数学Bの出題範囲は「数列」とします。 数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。
	マ テ リ ア ル コ ー ス	数 学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C 理 科：「物理基礎」か「化学基礎」のどちらかを口頭試問開始時に選択 外国語：英語 ※ 数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。 数学Bの出題範囲は「数列」とします。 数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。
システム創成工学科	電 気 電 子 通 信 コ ー ス	数 学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C ※ 数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。 数学Bの出題範囲は「数列」とします。 数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。
	知 能 ・ メ デ ィ ア 情 報 コ ー ス	数 学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C 情 報：情報Ⅰ ※ 数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。 数学Bの出題範囲は「数列」とします。 数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。
	機 械 科 学 コ ー ス	数 学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C 理 科：物理基礎 外国語：英語 ※ 数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。 数学Bの出題範囲は「数列」とします。 数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。
	社 会 基 盤 ・ 環 境 コ ー ス	数 学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C 理 科：「物理基礎」か「化学基礎」のどちらかを口頭試問開始時に選択 外国語：英語 ※ 数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。 数学Bの出題範囲は「数列」とします。 数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：人文社会科学部

1 学部概要

人文社会科学部は、グローバル化の下で著しく変化する現代社会の諸問題を総合的観点から理解する能力と、人間・文化・社会・環境に関する専門的知識・能力を有し、地域社会及び国際社会に実践を通して貢献できる人材の養成を目指しています。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学部共通》

(1) 知識・技能・理解

人間・文化・社会・環境に関する基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人

(2) 思考力・判断力・表現力

多様な考え方、異質なものの見方を理解しようとする柔軟な姿勢を持ち、物事を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

(3) 関心・意欲

人間・文化・社会・環境のあり方とそれらをめぐる諸問題について強い探究心と広い観点から学ぶ意欲を持つ人

(4) 主体性・協働性

地域社会・国際社会の諸問題に実践的に取り組み、周囲の人々と協働しながら問題の解決を図ろうとする人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・国語：読解力及び自分の考えを表現できる作文力
- ・英語：基本的な読解力・リスニング力・会話力・作文力
- ・地歴・公民：日本及び世界の地理・歴史・社会制度・社会思想などに関する基礎的知識と社会事象に対する関心
- ・数学：数学の基本的な概念を理解し、論理的に思考する力
- ・理科：日常生活や社会に見られる科学的な事象に対する基礎的知識
- ・情報：情報社会と情報通信技術、データ活用に関する基礎的知識
- ・高校生活全般：他人と積極的に関わることのできるコミュニケーション力

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

(1) 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別試験では「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別試験では「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

(3) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小論文では「思考力・判断力・表現力」を、面接では「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を評価するとともに、出願理由書・調査書で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を確認します。

(4) 私費外国人留学生入試

日本留学試験では日本語に関する基礎的能力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を、小論文では「思考力・判断力・表現力」を評価します。そして、面接では出願理由書の内容の確認も併せて「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を評価します。

【人間文化課程】

1 課程概要

人間文化課程は、多様な固有文化を育み、歴史的に継承されてきた地域のあり方と、そこに暮らす人間の行動を多角的に学修し、グローバル化を踏まえた地域づくりと住民の心身両面の健やかな生活に貢献できる人材、及

び地域の来歴を踏まえ、文化を世界に向けて発信できる人材を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解

人間・言語・文化・芸術・スポーツについて学ぶための基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人

(2) 思考力・判断力・表現力

多様な特性をもつ人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸現象を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

(3) 関心・意欲

人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸問題について地域及び世界双方の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

(4) 主体性・協働性

人間・言語・文化・芸術・スポーツに関する学修を実践に活かし、周囲の人々と協働しながら地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

【地域政策課程】

1 課程概要

地域政策課程は、東日本大震災の復興から、未来のモデルとなる持続可能な社会づくりへの道筋を見据え、地域創生・地域マネジメントへの課題に、法学・経済学・環境学それぞれの分野の学修を軸としながら、総合的視点から取り組むことのできる人材を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解

法学・経済学・環境学について学ぶための基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人

(2) 思考力・判断力・表現力

複雑に絡み合う法・経済・環境をめぐる諸現象を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

(3) 関心・意欲

現代の社会をめぐる諸問題について、法学・経済学・環境学の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

(4) 主体性・協働性

法学・経済学・環境学に関する学修を実践に活かし、周囲の人々と協働しながら地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

＜別表＞選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	一般（後期）	提示した問題・課題を通して、「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」に関する基礎的な能力を判定する。
小論文	学校推薦型 私費外国人留学生	提示した問題・課題を通して、「思考力・判断力・表現力」に関する基礎的な能力を判定する。
面接	学校推薦型	推薦書・出願理由書・調査書に関する質疑を行うことによって「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」について判定する。
面接	私費外国人留学生	出願理由書に関する質疑を行うことによって、「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」について判定する。
出願理由書	学校推薦型 私費外国人留学生	本学部を志望する理由を、これまでの勉強や様々な活動を通じて育まれた問題意識、本学部の教育内容、大学卒業後の希望進路などを踏まえて記入する。「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を判定する際の1つの資料にする。
調査書	学校推薦型	高等学校での科目の履修状況に加えて、教科外活動の状況やボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得なども評価対象とする。「知識・技能・理解」「主体性・協働性」を判定する際の1つの資料とする。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・理解・技能	思考力・ 判断力・ 表現力	関心・意欲・態度	主体性・ 協働性
大学入学共通 テスト	一般（前期）		○		
	一般（後期）	○	○		
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）	○	○		○
小論文	一般（後期）		○		○
	学校推薦型 私費外国人留学生		○		
面接	学校推薦型 私費外国人留学生		○	○	○
出願理由書	学校推薦型 私費外国人留学生		○	○	○
調査書	学校推薦型	○			○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		

※一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）においては調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定時の資料として活用します。

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：理工学部

1 学部概要 ※各学科・コース・プログラム分は後述

理工学部は、理工学分野又は工学分野の基礎学力と科学技術分野に関する課題を解決するために必要な専門的能力を有し、グローバルな視点に立ちながら地域社会づくりやイノベーション創出に貢献できる技術者と研究者、次世代の優秀な理系人材を育成する教育者の養成を行います。また、持続可能な社会の発展のために、理工学分野の基礎から応用までの広範な研究を推進します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学部共通部分》 ※各学科・コース・プログラム分は後述

(1) 関心・意欲

- ・ 科学技術の発展に必要とされる理工学や工学分野に強い関心と学ぶ意欲があり、更には地域や社会における課題への理解力と地域貢献への意欲を持ちつつ明確な目標を持って行動できる人

(2) 知識・技能

- ・ 高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を修得しているとともに、理工学および工学分野の学修に必要な基礎的知識及び技能を持ち、さらにそれらの能力を総合的に応用展開できる人

(3) 思考力・判断力

- ・ 理工学分野又は工学分野における課題を発見・探求し、解決したいという積極性を持ち、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

(4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 周囲とのコミュニケーションが円滑にとれ、相手に伝えたいことを適切に表現できる人

(5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 多様な経験をもとに協働して学び、創造性豊かで主体的に行動できる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース・プログラム毎に後述

4 入学者選抜の基本方針 ※コース・プログラム毎に後述

【化学・生命理工学科】

1 学科概要 ※学部分は前述、各コース分は後述

化学・生命理工学科では、化学、生命に関連する各科学技術分野の理工学的な諸課題を解決するための理学的な基礎学力と工学的な応用学力を統合した総合学力を有し、国際的視点に立ちながら地域社会づくりに貢献できる研究者や技術者、教育者の育成を行います。また、持続可能な社会の発展のために、化学及び生命理工学分野の基礎から応用までの広範な研究を推進します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学科共通分》 ※学部分は前述、各コース分は後述

- ・ 化学・生命理工学の学修に必要な基礎学力
- ・ 化学・生命分野における豊かな発想力と論理的な思考力
- ・ 化学・生命分野における課題を探究し、解決したいという積極性

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース毎に後述

4 入学者選抜の基本方針 ※コース毎に後述

<化学コース>

1 コース概要 ※学部・学科分は上記参照

化学コースでは、化学及びその関連分野に関する広範な基礎学力と課題を探究し解決できる能力を有し、地域社会と国際社会の持続可能な発展に貢献できる人間性豊かな専門技術者、研究者、教育者の育成を行います。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部・学科分は上記参照

(1) 関心・意欲

- ・ 化学やその関連分野への強い関心と新しい課題に挑戦する意欲を持ち、明確な目標を持って積極的に問題解決に取り組むことのできる人

(2) 知識・技能

- ・ 化学の専門分野を学ぼうと必要な理科系・文科系にわたる基礎的知識やその展開力を修得している人

(3) 思考力・判断力

- ・ 広い視野と論理的思考を通して化学における課題を発見・探求し、問題解決に向けた適切な判断と対処のできる人

(4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 的確な表現力と周囲との円滑なコミュニケーション能力を用いて化学の知識、技術、情報等を必要な相手に正確に伝え、問題解決に取り組むことができる人

(5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 化学に関連する分野において創造性豊かな発想ができ、主体的に問題の発見と解決に協働的に取り組むことのできる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の内容の理解と数学的思考力
- ・ 理科：「化学基礎・化学」、「物理基礎・物理」、「生物基礎・生物」などの内容の理解と科学的思考力
- ・ 国語、英語：国際社会で活躍する人材の素養としての読解力、思考力、表現力、およびコミュニケーション能力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史、倫理、政治経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針

(1) 一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・技能」と「思考力・判断力」、調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。一般選抜では入学後の教養教育・専門教育に対応できる知識とその展開力、および理工学部学生としての自然科学全般への俯瞰的視野を重視し、理科系・文科系にわたる幅広い知識と理数系に対する深い思考力および判断力を持つ人を総合的に選抜します。

(2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）〈主体性重視型〉

個別面接試験で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し、「主体性・創造性・協働性」もあわせて総合的に評価します。選抜にあたっては化学分野への関心・意欲および高い主体性と専門性を重視します。

(3) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

(4) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校や短期大学理工系学部を卒業、または、大学の理工系学部などの教育機関に2年次まで就学し、化学や関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用）および化学に関わる専門科目（筆記試験））および面接を総合して選抜します。

<生命コース>

1 コース概要 ※学部・学科分は上記参照

生命コースでは、工学分野の基礎知識と生命科学分野の専門的知識を身につけた人材、課題探究・問題解決能力を備えた専門技術者や研究者の育成を行います。具体的には、医療機器、医薬品、福祉産業分野で活躍できる人材、地域はもとよりグローバルに活躍できる人材の育成を行います。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部・学科分は上記参照

(1) 関心・意欲

- ・ 生命科学分野に強い関心を持ち、新しい課題に挑戦する意欲があり、明確な目標を持って行動でき、必要な相手に伝えたいことを表現できる人

(2) 知識・技能

- ・ 生命科学分野の専門分野を学ぶうえで必要な理科系・文科系にわたる基礎的な知識や教養を持つ人

(3) 思考力・判断力

- ・ 生命科学分野における課題を発見・探求し、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

(4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 周囲とコミュニケーションが円滑にとれ、必要な相手に生命科学分野の知識を正確に表現でき伝えることができる人

(5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 生命科学分野において主体的に創造性豊かな発想ができる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の内容の理解と数学的思考力
- ・ 理科：「生物基礎・生物」、「化学基礎・化学」、「物理基礎・物理」などの内容の理解と科学的思考力
- ・ 国語、英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史、倫理、政治経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針

(1) 一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストを課し、高等学校レベルの基礎学力を評価します。個別学力試験では、数学を必須、化学、生物、物理の内1科目を選択とし、生命科学を学ぶ上で基盤となる科目への理解度と応用力を評価します。大学入学共通テストと個別試験とを用い「知識・技能」と「思考力・判断力」、調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。

(2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）〈主体性重視型〉

個別面接試験（口頭試問を含む）で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し、「主体性・創造性・協働性」を併せて総合的に評価します。関心・意欲および高い主体性と専門性を重視します。

(3) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

(4) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校を卒業、または、大学などの教育機関で2年次まで就学し、生命科学についてさらに高い専門性を身につけようという意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用）および生命工学に関わる専門科目（口頭試問（面接含む））を総合して選抜します。

【物理・材料理工学科】

1 学科概要 ※学部分は前述、各コース分は後述

物理・材料理工学科では、数理科学、物理科学、物質科学、材料工学の各分野を担える広範な専門基礎学力と、関連する諸課題を探究し解決できる能力を有し、地域社会と国際社会の持続発展に貢献できる人間性豊かな技術者、研究者、教育者の育成を行います。

- 2 入学者に求める資質（求める学生像）《学科共通分》** ※学部分は前述，各コース分は後述
- ・ 高校教育の中で，数学，物理，化学，英語などを十分に学習し，本学科の学修に必要な基礎学力
 - ・ 数理科学，物理科学，物質科学，材料工学に強い関心を持ち，環境との調和に留意しつつ，これらの発展に大きな貢献をしたいという意欲
 - ・ 強い勉学意欲と，新しい課題に挑戦する積極性
- 3 入学前に修得しておくことを期待する内容** ※コース毎に後述
- 4 入学者選抜の基本方針** ※コース毎に後述

＜数理・物理コース＞

1 コース概要 ※学部・学科分は上記参照

数理・物理コースでは，物質の性質から宇宙の構造まで，自然界の仕組みを探究する中で深く論理的に考える力を養い，学んだ知識や考え方を活用して，社会に貢献できる人材の育成を行います。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部・学科分は上記参照

(1) 関心・意欲

- ・ 数理・物理科学に高い関心があり，新しい課題に挑戦する積極性と，地域はもとよりグローバルに活躍したいという意欲がある人

(2) 知識・技能

- ・ 数理・物理科学の専門分野を学ぶうえで必要な理科系・文科系にわたる基礎的な知識やその展開力を持つ人

(3) 思考力・判断力

- ・ 数理・物理科学分野における課題を発見・探求し，広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

(4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 周囲とコミュニケーションが円滑にとれ，必要な相手に数理・物理科学分野の知識を正確に表現でき伝えることができる人

(5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 数理・物理科学分野における課題を積極的に探求し，創造性や協働性を持ってその解決を目指す人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」，「数学C」の内容の理解と数学的思考力
- ・ 理科：「化学基礎・化学」，「物理基礎・物理」などの内容の理解と科学的思考力
- ・ 国語，英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，読解力，思考力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史，倫理，政治経済，現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は，選抜区分や学部等毎で個別に示しますので，各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針

(1) 一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・技能」と「思考力・判断力」，調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。一般選抜では，入学後の教養教育・専門教育に対応できる知識と思考力を重視し，理工学部として俯瞰的視野を持つ人物を求めます。理科系・文科系にわたる幅広い知識と理数系に対する深い思考力および判断力を持つ人を総合的に選抜します。

(2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）＜主体性重視型＞

個別面接試験で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し，「主体性・創造性・協働性」を併せて総合的に評価します。関心・意欲および高い主体性と専門性を重視します。

(3) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し，日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

(4) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校を卒業，または，大学などの教育機関で2年次まで就学し，数理科学，物理科学，物質科学につ

いてさらに高い専門性を身につけようという意欲的な学生を求めます。学力試験（数学（筆記試験）、英語（外部検定活用）および応用数学・物理学・物性学に関わる専門科目（口頭試問（面接含む））を総合して選抜します。

<マテリアルコース>

1 コース概要 ※学部・学科分は上記参照

マテリアルコースでは、すべての産業を支える“材料”の性質を原子・分子レベルから科学的に理解し、新しい材料やそれらの製造・評価技術の開発につながる専門知識と技術を修得して、社会に貢献できる人材の育成を行います。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部・学科分は上記参照

(1) 関心・意欲

- ・ 材料工学・物質科学に高い関心があり、新しい課題に挑戦する積極性と、地域はもとよりグローバルに活躍したいという意欲がある人

(2) 知識・技能

- ・ 材料工学・物質科学の専門分野を学ぶうえで必要な理科系・文科系にわたる基礎的な知識やその展開力を持つ人

(3) 思考力・判断力

- ・ 材料工学・物質科学分野における課題を発見・探求し、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

(4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 周囲とコミュニケーションが円滑にとれ、必要な相手に材料工学・物質科学分野の知識を正確に表現でき伝えることができる人

(5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 材料工学・物質科学分野における課題を積極的に探求し、創造性や協働性を持ってその解決を目指す人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の内容の理解と数学的思考力
- ・ 理科：「化学基礎・化学」、「物理基礎・物理」などの内容の理解と科学的思考力
- ・ 国語、英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史、倫理、政治経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針

(1) 一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・技能」と「思考力・判断力」、調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。一般選抜では、入学後の教養教育・専門教育に対応できる知識と思考力を重視し、理工学部として俯瞰的視野を持つ人物を求めます。理科系・文科系にわたる幅広い知識と理数系に対する深い思考力および判断力を持つ人を総合的に選抜します。

(2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）<主体性重視型>

個別面接試験で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し、「主体性・創造性・協働性」を併せて総合的に評価します。関心・意欲および高い主体性と専門性を重視します。

(3) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

(4) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校を卒業、または、大学などの教育機関で2年次まで就学し、材料工学や物質科学分野についてさらに高い専門性を身につけようという意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用）および材料に関わる専門科目（口頭試問（面接含む））を総合して選抜します。

【システム創成工学科】

1 学科概要 ※学部分は前述，各コース分は後述

システム創成工学科では，電気電子通信，知能・メディア情報，機械科学，社会基盤・環境の各科学技術分野に関する広範な基礎学力と工学分野における課題を探究し，解決するために必要な専門的能力を有し，地域社会と国際社会の持続的発展に貢献できる技術者や研究者の育成を行います。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学科共通分》 ※学部分は前述，各コース分は後述

- ・ システム創成工学を学ぶに相応しい数学，物理，化学，英語などの基礎学力
- ・ 電気電子通信，知能・メディア情報，機械科学，社会基盤・環境の各分野に強い関心を持ち，豊かな発想力と論理的な思考力を有し，自ら積極的に勉学しようとする意欲
- ・ システム創成工学分野における課題を積極的に解決しようとする探究心

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース毎に後述

4 入学者選抜の基本方針 ※コース毎に後述

<電気電子通信コース>

1 コース概要 ※学部・学科分は上記参照

電気電子通信コースでは，自然との共生を考えた再生可能エネルギー，先端技術を支えるエレクトロニクスデバイス，高度情報化社会を支える通信ネットワークなどの専門分野を担う，十分な専門的能力を身に付けた人材の育成を目標とし，基礎理論から実用的技術開発まで広範な教育・研究を行います。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《コース分》 ※学部・学科分は上記参照

(1) 関心・意欲

- ・ 電気電子通信工学分野に強い関心を持ち，高い勉学意欲と新しい課題に挑戦する意欲があり，地域はもとよりグローバルに活躍したいという意欲がある人

(2) 知識・技能

- ・ 電気電子通信工学の専門分野を学ぶうえで必要な理科系・文科系にわたる基礎的な知識を持ち，知識を展開する能力を持つ人

(3) 思考力・判断力

- ・ 電気電子通信工学分野における課題を広い視野で見発見・探究し，論理的に思考を深めることで柔軟に判断を行うことができる人

(4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 電気電子通信工学の知識や技能を身につけるために，周囲とコミュニケーションが円滑にとれ，論理的に説明し，表現することができる人

(5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 電気電子通信工学分野において創造性豊かな発想ができ，明確な目標を持って行動しつつ，高い技術と豊かな教養を多様な人々と継続的・主体的に学ぶことができる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」，「数学C」の内容の理解と数学的思考力
- ・ 理科：「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」などの内容の理解と科学的思考力
- ・ 国語，英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，読解力，思考力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史，倫理，政治経済，現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は，選抜区分や学部等毎で個別に示しますので，各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針

(1) 一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・技能」と「思考力・判断力」、調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。一般選抜では、入学後の教養教育・専門教育に対応できる知識と思考力を重視し、理工学部として俯瞰的視野を持つ人物を求めます。理科系・文科系にわたる幅広い知識と理数系に対する深い思考力および判断力を持つ人を総合的に選抜します。

(2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）＜主体性重視型＞

個別面接試験で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し、「主体性・創造性・協働性」を併せて総合的に評価します。関心・意欲および高い主体性と専門性を重視します。

(3) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜工学経験・主体性重視型＞

地域創生特別プログラム（ものづくり系）は、総合型選抜Ⅰで行います。

第1次選考は書類選考で、提出された志望理由書・自己推薦書により、「関心・意欲」および「主体性・創造性・協働性」といった本プログラムで学ぶにふさわしい基本的な素養を評価します。また、調査書では大学での勉学の基礎となる「知識・技能」を評価します。第2次選考は面接とプレゼンテーションを行い、個人面接の口頭試問では「知識・技能」および「思考力・判断力」をより詳細に評価します。また、プレゼンテーションでは「表現力・コミュニケーション能力」を重点的に評価するとともに「関心・意欲」や「主体性・創造性・協働性」についても併せて評価します。

本選抜においては、工業に関する学科を卒業見込とする者も対象とし、各専門分野への強い関心と必要な基礎学力を持つとともに、主体性のあるものづくり経験が豊富な学生の受入を目的としています。

(4) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

(5) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校を卒業、または、大学などの教育機関で2年次まで就学し、電気電子通信工学についてさらに高い専門性を身につけようという意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用）および電気回路・電磁気学に関わる専門科目（筆記試験））および面接を総合して選抜します。

<知能・メディア情報コース>

1 コース概要 ※学部・学科分は上記参照

知能・メディア情報コースでは、安心・安全で豊かな生活環境を支えるための高度で多様な情報システムを構築できる人材の育成を目標とし、コンピュータの基礎理論から知能情報工学、メディア情報工学に至るまでの広範な教育・研究を行います。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部・学科分は上記参照

(1) 関心・意欲

- ・ 情報工学に強い興味と関心を持ち、社会や生活上の様々な問題の解決に情報技術を通じて貢献しようとする意欲を持つ人

(2) 知識・技能

- ・ 情報工学を学ぶための基礎的な知識と、その知識を活用する能力を持つ人

(3) 思考力・判断力

- ・ 情報工学を学ぶための論理的思考能力を持つ人

(4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 他人の意見を理解し、自分の考えを的確に伝えられる人

(5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 情報工学分野の課題を解決するために、人と目標を共有し、自ら進んで取り組み、現状を改善する提案や行動ができる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の内容の理解と数学的思考力
- ・ 理科：「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」などの内容の理解と科学的思考力

- ・ 国語，英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，読解力，思考力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史，倫理，政治経済，現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は，選抜区分や学部等毎で個別に示しますので，各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針

(1) 一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・技能」と「思考力・判断力」，調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。一般選抜では，入学後の教養教育・専門教育に対応できる知識と思考力を重視します。理科系・文科系にわたる幅広い知識に対する深い思考力および判断力を持つ人を総合的に選抜します。

(2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）〈関心意欲重視型〉

個別面接試験で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し，「思考力・判断力」，「表現力・コミュニケーション能力」と「主体性・創造性・協働性」を併せて総合的に評価します。関心・意欲および高い主体性と専門性を重視します。

(3) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）〈工学経験・主体性重視型〉

地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉は，総合型選抜Ⅰで行います。

第1次選考は書類選考で，提出された志望理由書・自己推薦書により，「関心・意欲」および「主体性・創造性・協働性」といった本プログラムで学ぶにふさわしい基本的な素養を評価します。また，調査書では大学での勉学の基礎となる「知識・技能」を評価します。第2次選考は面接とプレゼンテーションを行い，個人面接の口頭試問では「知識・技能」および「思考力・判断力」をより詳細に評価します。また，プレゼンテーションでは「表現力・コミュニケーション能力」を重点的に評価するとともに「関心・意欲」や「主体性・創造性・協働性」についても併せて評価します。

本選抜においては，工業に関する学科を卒業見込とする者も対象とし，各専門分野への強い関心と必要な基礎学力を持つとともに，主体性のあるものづくり経験が豊富な学生の受入を目的としています。

(4) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し，日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

(5) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校を卒業，または，大学などの教育機関で2年次まで就学し，情報工学についてさらに高い専門性を身につけようという意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用）および情報工学に関わる専門科目（筆記試験））および面接を総合して選抜します。

〈機械科学コース〉

1 コース概要 ※学部・学科分は上記参照

機械科学コースでは，先端的なものづくりの分野において，次世代の科学技術を創出することにより持続可能な社会を実現することを目指し，環境負荷の低減や省エネルギーなど，多様な社会の要求に柔軟に対応しながら，機械システムを創成できる能力を身に付けた機械系技術者を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《コース分》 ※学部・学科分は上記参照

(1) 関心・意欲

- ・ 機械科学に興味を持ち，地域はもとよりグローバルに活躍したいという意欲がある人

(2) 知識・技能

- ・ 機械科学を学ぶうえで必要な理科系・文科系にわたる基礎的な知識や教養を持つ人

(3) 思考力・判断力

- ・ 機械科学を学ぶために相応しい論理的な思考力と判断力を持つ人

(4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 周囲とコミュニケーションが円滑にとれ，必要な相手に知識を正確に伝えることができる人

(5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 機械科学における課題を積極的に探求し，解決するための行動力や創造性，協働性を持つ人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の内容の理解と数学的思考力
- ・ 理科：「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」などの内容の理解と科学的思考力
- ・ 国語、英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史、倫理、政治経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針

(1) 一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストを課し、高等学校レベルの基礎学力を評価します。個別学力試験では、数学を必須、化学、物理の内1科目を選択とし、機械科学を学ぶ上で基盤となる科目への理解度と応用力を評価します。大学入学共通テストと個別試験とを用い「知識・技能」と「思考力・判断力」、調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。

(2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）〈主体性重視型〉

個別面接試験（口頭試問を含む）で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し、「主体性・創造性・協働性」を併せて総合的に評価します。関心・意欲および高い主体性と専門性を重視します。

(3) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）〈工学経験・主体性重視型〉

地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉は、総合型選抜Ⅰで行います。

第1次選考は書類選考で、提出された志望理由書・自己推薦書により、「関心・意欲」および「主体性・創造性・協働性」といった本プログラムで学ぶにふさわしい基本的な素養を評価します。また、調査書では大学での勉学の基礎となる「知識・技能」を評価します。第2次選考は面接とプレゼンテーションを行い、個人面接の口頭試問では「知識・技能」および「思考力・判断力」をより詳細に評価します。また、プレゼンテーションでは「表現力・コミュニケーション能力」を重点的に評価するとともに「関心・意欲」や「主体性・創造性・協働性」についても併せて評価します。

本選抜においては、工業に関する学科を卒業見込とする者も対象とし、各専門分野への強い関心と必要な基礎学力を持つとともに、主体性のあるものづくり経験が豊富な学生の受入を目的としています。

(4) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

(5) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校を卒業、または、大学などの教育機関で2年次まで就学し、機械工学についてさらに高い専門性を身につけようという意欲的な学生を求めます。在学中の成績、学力試験（数学（筆記試験）、英語（外部検定活用））、面接を総合して選抜します。

〈社会基盤・環境コース〉

1 コース概要 ※学部・学科分は上記参照

社会基盤・環境コースでは、安全・安心な社会基盤の整備をはじめ、既設構造物の長寿命化、環境問題の克服、循環型社会の実現を目指し、建設工学・環境工学・防災工学を専門分野とした教育研究を展開し、これらの専門分野に精通した建設技術者や研究者、教育者の育成を行います。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《コース分》 ※学部・学科分は上記参照

(1) 関心・意欲

- ・ 自然と調和し、安全・安心な社会の構築のために、社会基盤・環境工学に関する様々な課題を積極的に探求し、新しい課題を解決しようとする意欲を持つ人

(2) 知識・技能

- ・ 社会基盤・環境工学の専門分野を学ぶうえで必要な理科系・文科系にわたる基礎的な知識や技能を持つ人

(3) 思考力・判断力

- ・ 持続可能な社会の実現のために、社会基盤・環境工学の専門分野に関連する課題を発見・探求できるような豊かな思考力を持ち、広い視野で適切に判断できる力を持つ人

(4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 周囲とコミュニケーションを円滑にとることができ、必要な相手に社会基盤・環境工学の専門分野に関連する様々な内容を正確に表現し、伝えることができる人

(5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 社会基盤・環境工学の専門分野において主体的に創造性豊かな発想ができる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の内容の理解と数学的思考力
- ・ 理科：「化学基礎・化学」、「物理基礎・物理」などの内容の理解と科学的思考力
- ・ 国語、英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史、倫理、政治経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針

(1) 一般選抜（前期日程）（後期日程）

大学入学共通テストを課し、高等学校レベルの基礎学力を評価します。個別学力試験では、数学を必須、物理、化学の内1科目を選択とし、建設工学・環境工学・防災工学に関する専門分野を学ぶ上で基盤となる科目への理解度と応用力を評価します。大学入学共通テストと個別試験とを用い「知識・技能」と「思考力・判断力」、調査書で「主体性・創造性・協働性」を評価します。

(2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）＜主体性重視型＞

個別面接試験（口頭試問を含む）で「関心・意欲」と「知識・技能」を重点的に評価し、「表現力・コミュニケーション能力」と「主体性・創造性・協働性」を併せて総合的に評価します。

(3) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜課題挑戦重視型＞

地域創生特別プログラム（防災・まちづくり系）の選抜方法は総合型選抜Ⅰで行います。第1次選考は調査書および自己推薦書を基に評価します。第2次選考は、面接（口頭試問を含む）およびプレゼンテーションを基に評価します。第1次選考と第2次選考の2段階にわたって「適性・構想力・論理的な思考力」、「意欲および一定以上の基礎学力」と「主体性・創造性・協働性」を重点的に評価し、防災・まちづくりに対するこれまでの活動の経験・実績、または興味・関心事項などを基に「表現力・情報収集能力・コミュニケーション能力」を総合的に評価します。

(4) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

(5) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校を卒業、または、大学などの教育機関で2年次まで就学し、社会基盤・環境工学についてさらに高い専門性を身につけようという意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用）および社会基盤・環境工学に関わる専門科目（筆記試験））および面接を総合して選抜します。

【特別プログラム（2プログラム）】

理工学部には、次の特別プログラムがあります。特別プログラム履修者は、所属する学科及びコースが求める能力・資質に加え、それぞれの特別プログラムが求める能力・資質を備えた入学者を求めています。

<地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉>

〔システム創成工学科の電気電子通信コース、知能・メディア情報コース及び機械科学コースが対象〕

1 プログラム概要 ※学部・学科・コース分は上記参照

地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉では、ソフトウェア・電子回路・機械システムなど、ものづくりに携わることに強い意欲を持つ学生を対象に、技術革新を求める地域企業のフロンティアリーダーや、最先端技術を持つ企業の中核エンジニアとして活躍できる高度な専門技術を身につけた技術者を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《プログラム分》 ※学部・学科・コース分は上記参照

地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉では、ものづくりに強い興味と関心を持ち、地域産業の活性化に資する高度な専門技術を身に付け、地域の企業等で活躍し、独自技術を芽吹かせようとする高い意欲を持った次のような入学者を求めています。

(1) 関心・意欲

- ・ものづくりに関心を持ち、地域の企業で独自技術を開発したいという意欲を持つ人

(2) 知識・技能

- ・工学を学ぶために必要な基礎的な学力を持つ人

(3) 思考力・判断力

- ・ものごとのしくみを理解し、ものづくりを論理的に実践するために必要な思考力と判断力を持つ人

(4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・チームでプロジェクトを推進する際に必要なコミュニケーション能力を持つ人

(5) 主体性・創造性・協働性

- ・ものづくりに対する経験と創造力を持ち、課題解決に向けて主体性を持って協働できる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・数学：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」における内容の理解と思考力
- ・理科：「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」などにおける内容の理解と思考力
- ・その他：国語、英語などにおける読解力および地理歴史、倫理、政治経済、現代社会などの教養と社会事象に対する関心及び情報における情報活用能力

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針

(1) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）〈工学経験・主体性重視型〉

地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉は、総合型選抜Ⅰで行います。

第1次選考は書類選考で、提出された志望理由書・自己推薦書により、「関心・意欲」および「主体性・創造性・協働性」といった本プログラムで学ぶにふさわしい基本的な素養を評価します。また、調査書では大学での勉学の基礎となる「知識・技能」を評価します。第2次選考は面接とプレゼンテーションを行い、個人面接の口頭試問では「知識・技能」および「思考力・判断力」をより詳細に評価します。また、プレゼンテーションでは「表現力・コミュニケーション能力」を重点的に評価するとともに「関心・意欲」や「主体性・創造性・協働性」についても併せて評価します。

本選抜においては、工業に関する学科を卒業見込とする者も対象とし、各専門分野への強い関心と必要な基礎学力を持つとともに、主体性のあるものづくり経験が豊富な学生の受入を目的としています。

<地域創生特別プログラム〈防災・まちづくり系〉>

〔システム創成工学科の社会基盤・環境コースが対象〕

1 プログラム概要 ※学部・学科・コース分は上記参照

地域創生特別プログラム〈防災・まちづくり系〉では、東日本大震災からの復興や今後想定される災害への備えのために、建設工学・環境工学・防災工学を専門分野とした教育を展開し、高い専門性と地域社会で活躍する実践力を有する建設技術者や研究者、教育者の育成を行います。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《プログラム分》 ※学部・学科・コース分は上記参照

(1) 関心・意欲

- ・自然と調和しながらも災害に強い社会の構築のために、防災・まちづくりに関する様々な課題に関心を持

ち、新しい課題を解決しようとする意欲を持つ人

(2) 知識・技能

- ・ 防災・まちづくりに関する専門分野を学ぶうえで必要な理科系・文科系にわたる基礎的な知識や技能を持つ人

(3) 思考力・判断力

- ・ 災害に強い社会の実現のために、防災・まちづくりの専門分野に関連する課題を発見・探求できるような豊かな思考力を持ち、広い視野で適切に判断できる力を持つ人

(4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 周囲とコミュニケーションを円滑にとることができ、必要な相手に防災・まちづくりの専門分野に関連する様々な内容を正確に表現し、伝えることができる人

(5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 防災・まちづくりに関する様々な地域課題において、主体的に創造性豊かな発想ができ、マネジメント力を持つ人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」，「数学C」における内容の理解と思考力
- ・ 理科：「化学基礎・化学」，「物理基礎・物理」などにおける内容の理解と思考力
- ・ 国語，英語：国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，読解力，思考力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」における内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史，倫理，政治経済，現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針

(1) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）〈課題挑戦重視型〉

地域創生特別プログラム〈防災・まちづくり系〉の選抜方法は総合型選抜Ⅰで行います。第1次選考は、調査書および自己推薦書を基に評価します。第2次選考は、面接（口頭試問を含む）およびプレゼンテーションを基に評価します。第1次選考と第2次選考の2段階にわたって「適性・構想力・論理的な思考力」，「意欲および一定以上の基礎学力」と「主体性・創造性・協働性」を重点的に評価し、防災・まちづくりに対するこれまでの活動の経験・実績，または興味・関心事項などを基に「表現力・情報収集能力・コミュニケーション能力」を総合的に評価します。

(各コース共通)

＜別表＞選抜に活用する評価方法とその評価項目＜各コース・各プログラムで共通＞

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
個人面接	編入学試験	複数の面接担当者による個人面接を行います。志望理由について面接を行い、提出書類に関する確認を行う場合もあります。理工系科学者・技術者として将来社会に貢献する意欲等を評価します。
個人面接 (口頭試問を含む)	学校推薦型 総合型 I	複数の面接担当者による個人面接を行います。志望理由や当該専門分野に関する一般的知識について面接を行います。高校の基礎学力を確認するために、口頭試問を行います。
プレゼン テーション	総合型 I	各プログラムにおいて出された課題に対する関心・意欲、知識・技能、思考力・判断力、表現力・コミュニケーション能力、主体性・創造性・協働性を総合的に評価します。
出願理由書・ 志望理由書	学校推薦型 総合型 I 私費外国人留学生	志望するコースやプログラムへの出願・志望理由について自筆で作成してください。志望理由が、各コース・各プログラムの入学者受入の方針に合致しているかを総合的に評価します。
推薦書・ 自己推薦書	学校推薦型 総合型 I	推薦書については、文字数は任意です。自己推薦書については、自筆で作成してください。各プログラムで学修する適性と意欲について総合的に評価します。
調査書	一般 (前期) 一般 (後期)	高等学校での生活状況 (特別活動・指導上の参考となる諸事項等) により、主体性や協働性がどのように培われてきたかを総合的に評価します。資格・検定試験の成績等のほか、プロジェクト活動やボランティア活動の実績、海外留学等の多様な経験がある場合には参考資料とすることもあります。
	学校推薦型 総合型 I	高等学校での学力および生活状況 (特別活動・指導上の参考となる諸事項等) について総合的に評価します。各プログラムにおいては、資格・検定試験の成績等のほか、プロジェクト活動やボランティア活動の実績、海外留学等の多様な経験がある場合には参考資料とすることもあります。
成績証明書・ 調査書	編入学試験 (機械科学コースのみ)	基礎学力を確認するために、成績証明書と調査書を用い、高等専門学校や短期大学等での生活状況 (特別活動・指導上の参考となる諸事項等) を併せて総合的に評価します。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目 [入学者選抜方法と求める学生像の関係性]

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲	知識・技能	思考力・ 判断力	表現力・ コミュニケー ション能力	主体性・ 創造性・ 協働性
大学入学共通 テスト	一般 (前期)					
	一般 (後期)		○	○		
個別学力検査 〈教科〉	一般 (前期)					
	一般 (後期)		○	○		
	編入学試験					
個人面接	編入学試験	○			○	
	学校推薦型	○	○	○	○	○
個人面接 (口頭試問を含む)	総合型 I	○	○	○	○	
プレゼン テーション	総合型 I	○		○	○	○
出願/志望理由書・ (自己)推薦書	学校推薦型	○			○	
	総合型 I	○				○
	私費外国人留学生	○			○	○
日本留学試験	私費外国人留学生		○	○		
調査書	一般 (前期) 一般 (後期)					○
	学校推薦型 総合型 I	○	○			○

成績証明書・
調査書

編入学試験
(機械科学コースのみ)



※一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）においては調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定の資料として活用します。

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：農学部

1 学部概要

農学部は、幅広く深い教養と豊かな人間性を基礎として、農学の重要分野である植物生命、応用生物化学、森林科学、食料生産環境、動物科学、獣医学の専門分野における、基礎的・応用的な専門知識と技能を修得することにより、地域および国際社会の食料・生命・環境の諸問題の解決に貢献できる人材の養成を目的としています。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学部共通》

(1) 知識・技能・理解

- ・ 農学分野の自然科学、生命科学、社会科学等を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・ 農学分野に関するグローバルな問題を地域の視点から見出し、論理的にとらえ、探求する思考力と自らの意見をまとめ表現する能力を有する人

(3) 関心・意欲・態度

- ・ 生命の尊さを知り、食料生産技術や生物資源の開発と利用について専門的知識を修得する意欲のある人

(4) 主体性・協働性

- ・ 農学分野に関する諸課題を主体的に学ぶ積極性を持つとともに、創造性豊かな発想をもとに協働して学ぶことのできる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・ 理科、数学、情報：内容の理解と応用力
- ・ 英語、国語：基礎的な読解力、表現力、文章力
- ・ 地歴・公民：基礎的内容の理解

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

(1) 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別学力検査で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。大学入学希望理由書で「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

(3) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小論文試験で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

(4) 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価し、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

(5) 私費外国人留学生選抜

日本留学試験で、日本語力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

【植物生命科学科】

1 学科概要

植物生命科学科では、植物および昆虫の生命現象と農学に関連する生命の機能を解明するための基礎知識を生物学や化学的な観点で学習します。さらに、農産物や農業生物を有益な資源として生かすために生命科学技術ならびに論理を学びます。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 生命機能の解明や生命資源利用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生命科学や生命資源の可能性を数量的・論理的に推理・解析できる分析力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 食料の安定供給と環境負荷低減を両立させる戦略・論理・技術を学ぶ意欲のある人
- ・ 新たな生命現象や未利用資源に関する成果を社会へ還元する行動力のある人

【応用生物化学科】

1 学科概要

応用生物化学科では、生命の現象、食品素材の特性、生物圏での物質の動きを理解するための基礎知識を化学的な視点から学習するとともに、それらに関連する実験技術を修得します。これらをもとに、微生物・動物・植物資源の有効利用や生物機能の応用についても学びます。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 食品素材特性の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生物圏での物質の動きの解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 微生物や酵素の高度利用について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 健康と食品機能について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 食料生産と生物圏の化学的な解明について専門的知識を修得する意欲のある人

【森林科学科】

1 学科概要

森林科学科では、東北地域の恵まれた自然環境を背景として、森林の持つ多様な環境保全機能や樹木資源の生産と利用、自然生態系の保全・管理、防災を含めた幅広い分野について総合的に学びます。これらをもとに、自然との共生関係を築きながら発展できる地域社会の実現に貢献する人材を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 森林科学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 多様な機能を活かした森づくりと利用・保全に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 森林の多面的機能を最大限に発揮できる森づくりに必要な知識と技術について学ぶ意欲のある人
- ・ 森林里山地域の自然生態系に配慮した適切な資源の利用と管理について学ぶ意欲のある人
- ・ 再生可能資源である木質バイオマスの総合的かつ持続的利用法について学ぶ意欲のある人

【食料生産環境学科】

1 学科概要

食料生産環境学科では、農業の生産基盤の整備や生活環境の向上、農村の生態系、文化・景観の保全や災害に強い地域づくり、食を取り巻く環境の急速なグローバル化および農業就業人口の減少や高齢化に対応する食料生産技術の高度化、農産物の保存・加工・流通、6次産業化、農業経営の高度化、さらに持続可能な水産資源の管理や漁獲・増養殖、加工技術の改良と開発、グローバルな視野に立った新たな流通体系などの科学と技術を学びます。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

<農村地域デザイン学コース・食産業システム学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 農業生産基盤の整備と農村環境の保全、地域振興に関して学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 食料生産技術、農産物の保存・加工・流通、6次産業化、および農業経営に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 農村地域の持続的発展のために、地域資源の適切な利用・管理と農村環境の保全、および地域振興について多面的に学ぶ意欲のある人
- ・ 食料生産環境の科学的な解明、農作業の快適化と効率化、農産物の高付加価値化と持続可能な流通システムの構築、農業廃棄物の有効利用に関する理論と技術を学ぶ意欲のある人
- ・ グローバル化に対応した農業経営の高度化、グリーンツーリズムや観光を含めた農業の6次産業化や農業情報の利活用について学ぶ意欲のある人

<水産システム学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 水産資源の管理・生産、その利活用、流通・販売に関する自然科学・社会科学の広い学問領域を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の問題解決に必要な基礎的な思考・判断力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 三陸地域の社会と水産業に関心を持ち、東日本大震災からの復興と水産業の課題に取り組む意欲のある人
- ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち、問題解決に取り組む意欲のある人
- ・ 水産業に関わる専門家としての高い倫理観を持ち、真摯に責任をもって持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を備えた人

【動物科学科】

1 学科概要

動物科学科では、産業動物、実験動物、野生動物、展示動物などの様々な動物種および飼料作物などを対象に、広く生命科学の基礎知識を学習するとともに、関連した実験技術を修得します。これらをもとに、人と動物が共生する地域社会の創造や動物関連産業の発展、生命科学の発展に貢献できる国際的視野を持った人材を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 動物生産および動物科学に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 動物科学への強い関心を有し、課題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- ・ 動物に関連した産業の諸問題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- ・ グローバルな視点から、動物に関連した産業の持続的発展に積極的な意欲を有する人

【共同獣医学科】

1 学科概要

共同獣医学科は、獣医師は人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき、高度獣医療の提供、人類の健康と食の安全、生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 獣医学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 動物の生命現象と病態に関する課題を探究し、グローバルな視野から論理的に解決する思考力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 動物の生命現象と病態に関心を持ち、それを継続して探求しようとする意欲のある人
- ・ 自己を啓発し実行力に優れ、獣医学の発展ならびに社会に貢献しようとする意欲のある人
- ・ 獣医師として、国際的な交流・協力を推進し、世界に学び世界に貢献しようとする意欲のある人

3 地域枠入試で求める学生像

上記の入学者に求める資質に加え、卒業後に産業動物獣医師に就業する明確な意思を持ち、産業動物獣医師として地域社会の発展に貢献する意欲のある人を求めます。

<別表> 選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	学校推薦型	文章を客観的に読解把握する力、内容に対する自らの考え方を述べる力、農学に関連する基礎学力について評価します。
個人面接	一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生	複数の面接担当者による個人面接を行います。加えて共同獣医学科が行う総合型Ⅱでは、当日提示される課題に対して自らの考えを説明する面接を行います。
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生	出願時に入学を希望する理由を本人が記入し、面接時に評価します。
調査書*	学校推薦型 総合型Ⅱ	学習の記録を中心に総合的に評価します。
大学入学希望理由書	一般（前期）	個別試験会場にて入学を希望する理由を本人が記入し、大学で農学を学ぶ意欲について評価します。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・技能・理解	思考力・ 判断力・ 表現力	関心・意欲・態度	主体性・ 協働性
大学入学共通テスト	一般（前期）				
	一般（後期）	○	○		
	総合型Ⅱ				
個別学力検査 <教科>	一般（前期）	○	○		
小論文	学校推薦型	○	○		
個人面接	一般（後期）				
	学校推薦型		○	○	○
	私費外国人留学生 総合型Ⅱ				
出願理由書	学校推薦型				
	総合型Ⅱ			○	○
	私費外国人留学生				
調査書*	学校推薦型	○		○	○
	総合型Ⅱ				
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		
大学入学希望理由書	一般（前期）			○	○

*一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）においては、調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定の資料として活用します。

なお、共同獣医学科が行う総合型選抜Ⅱで第1段階選抜を行う場合は、出願理由書、調査書をアドミッション・ポリシーに照らして総合的に評価します。